

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 愛媛県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	今治病院	3
-	南宇和病院	4
-	新居浜病院	5
宇和島市	市立宇和島病院	6
宇和島市	宇和島市立吉田病院	7
宇和島市	宇和島市立津島病院	8
八幡浜市	市立八幡浜総合病院	9
西条市	西条市立周桑病院	10
大洲市	大洲病院	11
西予市	市立西予市民病院	12
西予市	市立野村病院	13
久万高原町	国保病院	14
鬼北町	北宇和病院	15
愛南町	愛南町国保一本松病院	16

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	75,928 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	824	62.5	59.1	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	3	43.7	44.1	27.9
計	827	62.4	59.1	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.1	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	707,431,134	
標準財政規模(千円)	362,869,208	
財政力指数	0.42197	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	124.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	34,510,395			
1 経常収益	34,503,735			
(1) 医業収益	27,869,857			
(うち修正医業収益)	27,093,500			
入院収益	18,234,536			
外来収益	8,339,682			
診療収入計	26,574,218			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,295,639			
(うち他会計負担金)	776,357			
(2) 医業外収益	6,633,878			
(うち国・都道府県補助金)	3,825,967			
(うち他会計補助・負担金)	1,550,881			
(うち長期前受金戻入)	926,227			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,660			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	31,950,558			
2 経常費用	31,950,558			
(1) 医業費用	30,077,935			
職員給与費	13,656,498	49.0	59.4	52.8
材料費	9,422,959	33.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	4,827,407	17.3	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,595,552	16.5	11.8	13.9
減価償却費	2,173,701	7.8	8.7	7.7
経費	4,699,265	16.9	22.1	18.0
(うち委託料)	2,829,366	10.2	11.7	10.7
研究研修費	108,348			
資産減耗費	17,164			
(2) 医業外費用	1,872,623			
(うち支払利息)	314,741	1.1	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	2,553,177			
純損益	2,559,837			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.0		103.3	102.8
医業収支比率	92.7		85.5	90.3
修正医業収支比率	90.1		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	6.7		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.7		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,842,563
1 固定資産	47,669,013
(1) 有形固定資産	44,557,755
(2) 無形固定資産	8,907
(3) 投資その他の資産	3,102,351
2 流動資産	13,173,550
(1) 現金及び預金	2,410,594
(2) 未収金及び未収収益	10,366,326
(3) 貸倒引当金()	114,987
(4) 貯蔵品	510,436
3 繰延資産	-
負債合計	69,842,358
1 固定負債	53,044,536
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,397,227
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,762,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,699,979
(7) 一ス債務	2,862,951
2 流動負債	10,580,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,986,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,270,916
(6) リ一ス債務	1,364,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,722,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,217,333
(1) 長期前受金	22,852,005
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,634,672
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-8,999,795
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-16,047,839
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-16,367,486
負債・資本合計	60,842,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	8,999,795
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,782,462
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,327,238	2,327,238
資本勘定繰入	740,789	740,789
計	3,068,027	3,068,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名 今治病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,999 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	270	51.9	54.1	55.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	43.8	45.7	46.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.5	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	707,431,134	
標準財政規模(千円)	362,869,208	
財政力指数	0.42197	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	124.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,244,929			
1 経常収益	6,244,929			
(1) 医業収益	5,115,021			
(うち修正医業収益)	5,105,469			
入院収益	3,489,695			
外来収益	1,519,639			
診療収入計	5,009,334			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	105,687			
(うち他会計負担金)	9,552			
(2) 医業外収益	1,129,908			
(うち国・都道府県補助金)	478,818			
(うち他会計補助・負担金)	398,758			
(うち長期前受金戻入)	154,976			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,593,227			
2 経常費用	6,593,227			
(1) 医業費用	6,308,882			
職員給与費	3,502,838	68.5	59.4	59.0
材料費	1,351,719	26.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	565,555	11.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	785,722	15.4	11.8	11.2
減価償却費	423,451	8.3	8.7	8.6
経費	1,005,163	19.7	22.1	21.3
(うち委託料)	455,837	8.9	11.7	11.6
研究研修費	19,709			
資産減耗費	6,002			
(2) 医業外費用	284,345			
(うち支払利息)	5,875	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-348,298			
純損益	-348,298			
累積欠損金	9,721,329			
経常収支比率	94.7		103.3	104.8
医業収支比率	81.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	80.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	88.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,842,563
1 固定資産	47,669,013
(1) 有形固定資産	44,557,755
(2) 無形固定資産	8,907
(3) 投資その他の資産	3,102,351
2 流動資産	13,173,550
(1) 現金及び預金	2,410,594
(2) 未収金及び未収収益	10,366,326
(3) 貸倒引当金()	114,987
(4) 貯蔵品	510,436
3 繰延資産	-
負債合計	69,842,358
1 固定負債	53,044,536
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,397,227
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,762,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,699,979
(7) 一ス債務	2,862,951
2 流動負債	10,580,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,986,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,270,916
(6) リ一ス債務	1,364,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,722,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,217,333
(1) 長期前受金	22,852,005
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,634,672
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-8,999,795
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-16,047,839
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-16,367,486
負債・資本合計	60,842,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	8,999,795
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,782,462
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	408,310	408,310
資本勘定繰入	89,664	1,069,856
計	497,974	1,478,166

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名 南宇和病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,000 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	36.9	35.7	42.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	36.9	35.7	42.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.1	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	707,431,134	
標準財政規模(千円)	362,869,208	
財政力指数	0.42197	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	124.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,994,575			
1 経常収益	2,994,575			
(1) 医業収益	2,005,080			
(うち修正医業収益)	2,000,961			
入院収益	1,102,089			
外来収益	854,609			
診療収入計	1,956,698			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,382			
(うち他会計負担金)	4,119			
(2) 医業外収益	989,495			
(うち国・都道府県補助金)	736,140			
(うち他会計補助・負担金)	143,727			
(うち長期前受金戻入)	94,352			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,966,436			
2 経常費用	2,966,436			
(1) 医業費用	2,853,558			
職員給与費	1,660,164	82.8	59.4	67.0
材料費	316,166	15.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	125,405	6.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	190,490	9.5	11.8	9.4
減価償却費	207,091	10.3	8.7	10.2
経費	654,422	32.6	22.1	28.8
(うち委託料)	274,921	13.7	11.7	13.2
研究研修費	8,193			
資産減耗費	7,522			
(2) 医業外費用	112,878			
(うち支払利息)	2,153	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	28,139			
純損益	28,139			
累積欠損金	13,911,433			
経常収支比率	100.9		103.3	104.5
医業収支比率	70.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	70.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	4.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	96.0		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,842,563
1 固定資産	47,669,013
(1) 有形固定資産	44,557,755
(2) 無形固定資産	8,907
(3) 投資その他の資産	3,102,351
2 流動資産	13,173,550
(1) 現金及び預金	2,410,594
(2) 未収金及び未収収益	10,366,326
(3) 貸倒引当金()	114,987
(4) 貯蔵品	510,436
3 繰延資産	-
負債合計	69,842,358
1 固定負債	53,044,536
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,397,227
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,762,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,699,979
(7) 一ス債務	2,862,951
2 流動負債	10,580,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,986,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,270,916
(6) リ一ス債務	1,364,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,722,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,217,333
(1) 長期前受金	22,852,005
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,634,672
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-8,999,795
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-16,047,839
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-16,367,486
負債・資本合計	60,842,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	8,999,795
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,782,462
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	147,846	147,846
資本勘定繰入	32,799	1,490,541
計	180,645	1,638,387

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名 新居浜病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,229 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	203	57.3	44.5	41.1
療養	-	-	-	-
結核	3	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	59.3	17.8	-
計	208	56.5	42.6	38.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.3	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	707,431,134	
標準財政規模(千円)	362,869,208	
財政力指数	0.42197	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	124.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,757,363			
1 経常収益	7,554,116			
(1) 医業収益	5,724,903			
(うち修正医業収益)	4,976,721			
入院収益	3,635,760			
外来収益	1,215,768			
診療収入計	4,851,528			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	873,375			
(うち他会計負担金)	748,182			
(2) 医業外収益	1,829,213			
(うち国・都道府県補助金)	489,290			
(うち他会計補助・負担金)	478,430			
(うち長期前受金戻入)	399,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	203,247			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,878,351			
2 経常費用	7,372,748			
(1) 医業費用	7,035,736			
職員給与費	3,587,858	62.7	59.4	63.7
材料費	1,245,457	21.8	26.1	21.0
(うち薬品費)	302,187	5.3	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	943,061	16.5	11.8	10.1
減価償却費	989,246	17.3	8.7	9.7
経費	1,175,852	20.5	22.1	28.9
(うち委託料)	496,277	8.7	11.7	13.6
研究研修費	17,514			
資産減耗費	19,809			
(2) 医業外費用	337,012			
(うち支払利息)	57,163	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	505,603			
損益	181,368			
純損益	-120,988			
累積欠損金	5,495,715			
経常収支比率	102.5		103.3	101.8
医業収支比率	81.4		85.5	80.8
修正医業収支比率	70.7		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	15.8		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	85.8		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,842,563
1 固定資産	47,669,013
(1) 有形固定資産	44,557,755
(2) 無形固定資産	8,907
(3) 投資その他の資産	3,102,351
2 流動資産	13,173,550
(1) 現金及び預金	2,410,594
(2) 未収金及び未収収益	10,366,326
(3) 貸倒引当金()	114,987
(4) 貯蔵品	510,436
3 繰延資産	-
負債合計	69,842,358
1 固定負債	53,044,536
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,397,227
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,762,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,699,979
(7) 一ス債務	2,862,951
2 流動負債	10,580,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,986,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,270,916
(6) リ一ス債務	1,364,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,722,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,217,333
(1) 長期前受金	22,852,005
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,634,672
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-8,999,795
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-16,047,839
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-16,367,486
負債・資本合計	60,842,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	8,999,795
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,782,462
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,226,612	1,226,612
資本勘定繰入	122,841	684,907
計	1,349,453	1,911,519

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	宇和島市				
病院名	市立宇和島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	34,197 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	426	82.7	81.5	81.8
療養	-	-	-	-
結核	5	50.7	-	0.7
精神	-	-	-	-
感染症	4	62.7	82.3	20.2
計	435	82.1	80.5	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.1	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	49,459,066	
標準財政規模(千円)	26,108,657	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,247,651			
1 経常収益	14,220,375			
(1) 医業収益	12,262,292			
(うち修正医業収益)	11,931,103			
入院収益	7,811,545			
外来収益	3,852,236			
診療収入計	11,663,781			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	598,511			
(うち他会計負担金)	331,189			
(2) 医業外収益	1,958,083			
(うち国・都道府県補助金)	1,132,845			
(うち他会計補助・負担金)	420,194			
(うち長期前受金戻入)	240,648			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,276			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,129,080			
2 経常費用	14,056,936			
(1) 医業費用	13,250,795			
職員給与費	6,328,314	51.6	59.4	57.2
材料費	3,593,603	29.3	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,009,975	16.4	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,495,370	12.2	11.8	12.7
減価償却費	1,320,101	10.8	8.7	8.0
経費	1,933,787	15.8	22.1	19.0
(うち委託料)	992,517	8.1	11.7	10.0
研究研修費	56,092			
資産減耗費	18,898			
(2) 医業外費用	806,141			
(うち支払利息)	182,210	1.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	72,144			
損益	163,439			
純損益	118,571			
累積欠損金	2,212,586			
経常収支比率	101.2		103.3	103.2
医業収支比率	92.5		85.5	88.6
修正医業収支比率	90.0		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	5.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	95.8		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,120,322
1 固定資産	14,850,621
(1) 有形固定資産	13,789,241
(2) 無形固定資産	8,242
(3) 投資その他の資産	1,053,138
2 流動資産	11,269,701
(1) 現金及び預金	8,104,984
(2) 未収金及び未収収益	3,079,440
(3) 貸倒引当金()	108,146
(4) 貯蔵品	193,062
3 繰延資産	-
負債合計	18,895,209
1 固定負債	14,268,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,043,257
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,914,024
(7) 一ス債務	311,321
2 流動負債	3,407,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,183,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	569,692
(6) リ一ス債務	206,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,441,168
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,219,103
(1) 長期前受金	4,832,246
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,613,143
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,225,113
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-5,383,491
(1) 資本剰余金	61,468
(2) 利益剰余金	-5,444,959
負債・資本合計	26,120,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	749,055	751,383
資本勘定繰入	202,233	202,233
計	951,288	953,616

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	宇和島市				
病院名	宇和島市立吉田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,866 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	52	40.6	42.1	51.1
療養	48	46.6	50.3	56.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	43.5	46.0	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	16.9	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	49,459,066	
標準財政規模(千円)	26,108,657	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	812,729			
1 経常収益	811,888			
(1) 医業収益	566,517			
(うち修正医業収益)	530,223			
入院収益	365,064			
外来収益	150,130			
診療収入計	515,194			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	51,323			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	245,371			
(うち国・都道府県補助金)	59,494			
(うち他会計補助・負担金)	140,913			
(うち長期前受金戻入)	26,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	841			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	809,174			
2 経常費用	806,475			
(1) 医業費用	779,955			
職員給与費	500,254	88.3	59.4	67.0
材料費	56,209	9.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	23,351	4.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,739	3.8	11.8	9.4
減価償却費	58,086	10.3	8.7	10.2
経費	160,273	28.3	22.1	28.8
(うち委託料)	61,080	10.8	11.7	13.2
研究研修費	386			
資産減耗費	4,747			
(2) 医業外費用	26,520			
(うち支払利息)	7,185	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,699			
損益	5,413			
純損益	3,555			
累積欠損金	2,305,652			
経常収支比率	100.7		103.3	104.5
医業収支比率	72.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	68.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	31.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	78.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,120,322
1 固定資産	14,850,621
(1) 有形固定資産	13,789,241
(2) 無形固定資産	8,242
(3) 投資その他の資産	1,053,138
2 流動資産	11,269,701
(1) 現金及び預金	8,104,984
(2) 未収金及び未収収益	3,079,440
(3) 貸倒引当金()	108,146
(4) 貯蔵品	193,062
3 繰延資産	-
負債合計	18,895,209
1 固定負債	14,268,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,043,257
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,914,024
(7) 一ス債務	311,321
2 流動負債	3,407,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,183,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	569,692
(6) リ一ス債務	206,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,441,168
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,219,103
(1) 長期前受金	4,832,246
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,613,143
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,225,113
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-5,383,491
(1) 資本剰余金	61,468
(2) 利益剰余金	-5,444,959
負債・資本合計	26,120,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,207	177,207
資本勘定繰入	62,970	62,970
計	240,177	240,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	宇和島市				
病院名	宇和島市立津島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,395 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	57.1	72.9	73.4
療養	40	76.6	87.5	90.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	64.9	78.7	80.4
平均在院日数(一般病床のみ)		26.5	26.1	27.3

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	49,459,066	
標準財政規模(千円)	26,108,657	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,349,259			
1 経常収益	1,347,626			
(1) 医業収益	959,710			
(うち修正医業収益)	923,416			
入院収益	587,932			
外来収益	311,346			
診療収入計	899,278			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,432			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	387,916			
(うち国・都道府県補助金)	117,981			
(うち他会計補助・負担金)	184,330			
(うち長期前受金戻入)	54,655			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,633			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,283,986			
2 経常費用	1,280,446			
(1) 医業費用	1,237,809			
職員給与費	717,675	74.8	59.4	67.0
材料費	117,681	12.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	67,598	7.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,384	4.9	11.8	9.4
減価償却費	97,903	10.2	8.7	10.2
経費	293,362	30.6	22.1	28.8
(うち委託料)	160,756	16.8	11.7	13.2
研究研修費	1,777			
資産減耗費	9,411			
(2) 医業外費用	42,637			
(うち支払利息)	1,459	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,540			
経常損益	67,180			
純損益	65,273			
累積欠損金	926,721			
経常収支比率	105.2		103.3	104.5
医業収支比率	77.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	88.0		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,120,322
1 固定資産	14,850,621
(1) 有形固定資産	13,789,241
(2) 無形固定資産	8,242
(3) 投資その他の資産	1,053,138
2 流動資産	11,269,701
(1) 現金及び預金	8,104,984
(2) 未収金及び未収収益	3,079,440
(3) 貸倒引当金()	108,146
(4) 貯蔵品	193,062
3 繰延資産	-
負債合計	18,895,209
1 固定負債	14,268,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,043,257
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,914,024
(7) 一ス債務	311,321
2 流動負債	3,407,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,183,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	569,692
(6) リ一ス債務	206,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,441,168
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,219,103
(1) 長期前受金	4,832,246
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,613,143
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,225,113
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-5,383,491
(1) 資本金剰余金	61,468
(2) 利益剰余金	-5,444,959
負債・資本合計	26,120,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	220,624	220,624
資本勘定繰入	50,344	50,344
計	270,968	270,968

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 愛媛県	
市町村・組合名	八幡浜市		
病院名	市立八幡浜総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,199 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	254	50.6	53.9	52.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	256	50.3	53.4	51.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	16.1	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	31,987	
決算規模(千円)	23,328,799	
標準財政規模(千円)	11,750,357	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	48.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,515,243			
1 経常収益	5,515,243			
(1) 医業収益	3,979,680			
(うち修正医業収益)	3,852,617			
入院収益	2,480,772			
外来収益	1,243,816			
診療収入計	3,724,588			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	255,092			
(うち他会計負担金)	127,063			
(2) 医業外収益	1,535,563			
(うち国・都道府県補助金)	652,769			
(うち他会計補助・負担金)	337,931			
(うち長期前受金戻入)	439,067			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,838,448			
2 経常費用	4,838,448			
(1) 医業費用	4,584,869			
職員給与費	2,537,374	63.8	59.4	63.7
材料費	846,450	21.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	376,163	9.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	433,810	10.9	11.8	10.1
減価償却費	471,032	11.8	8.7	9.7
経費	705,304	17.7	22.1	28.9
(うち委託料)	392,351	9.9	11.7	13.6
研究研修費	8,259			
資産減耗費	16,450			
(2) 医業外費用	253,579			
(うち支払利息)	28,639	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	676,795			
純損益	676,795			
累積欠損金	-			
経常収支比率	114.0		103.3	101.8
医業収支比率	86.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	84.0		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	8.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	104.4		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,186,669
1 固定資産	7,011,810
(1) 有形固定資産	6,546,905
(2) 無形固定資産	4,585
(3) 投資その他の資産	460,320
2 流動資産	5,174,859
(1) 現金及び預金	4,099,147
(2) 未収金及び未収収益	1,029,295
(3) 貸倒引当金()	1,833
(4) 貯蔵品	47,557
3 繰延資産	-
負債合計	8,402,670
1 固定負債	5,816,940
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,858,046
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	958,894
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	942,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	432,552
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,388
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	360,017
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,642,888
(1) 長期前受金	4,392,740
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,749,852
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,783,999
1 資本金	2,362,732
2 剰余金	1,421,267
(1) 資本金剰余金	308,402
(2) 利益剰余金	1,112,865
負債・資本合計	12,186,669
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	387,198	464,994
資本勘定繰入	213,624	305,557
計	600,822	770,551

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	西条市				
病院名	西条市立周桑病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,355 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	185	42.6	42.9	42.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	42.6	42.9	42.3
平均在院日数(一般病床のみ)		27.5	27.0	25.5

設立団体の状況		
人口(人)	104,791	
決算規模(千円)	55,253,057	
標準財政規模(千円)	28,883,930	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	51.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	146,811			
1 経常収益	146,811			
(1) 医業収益	47,170			
(うち修正医業収益)	5,785			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	47,170			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	99,641			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	95,225			
(うち長期前受金戻入)	4,390			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	179,542			
2 経常費用	179,542			
(1) 医業費用	158,786			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	80,601	170.9	8.7	10.2
経費	68,976	146.2	22.1	28.8
(うち委託料)	2,917	6.2	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	9,209			
(2) 医業外費用	20,756			
(うち支払利息)	18,630	39.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-32,731			
純損益	-32,731			
累積欠損金	4,591,917			
経常収支比率	81.8		103.3	104.5
医業収支比率	29.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	3.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	93.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	289.6		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	93.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	5.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,716,335
1 固定資産	1,630,635
(1) 有形固定資産	1,630,622
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	13
2 流動資産	85,700
(1) 現金及び預金	85,488
(2) 未収金及び未収収益	212
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	840,862
1 固定負債	558,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	558,630
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	256,775
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	181,138
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	73,581
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,457
(1) 長期前受金	87,586
(2) 長期前受金収益化累計額()	62,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	875,473
1 資本金	2,714,972
2 剰余金	-1,839,499
(1) 資本金剰余金	2,752,418
(2) 利益剰余金	-4,591,917
負債・資本合計	1,716,335
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	53,789	136,610
資本勘定繰入	104,160	107,075
計	157,949	243,685

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9734.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		愛媛県	
市町村・組合名	大洲市		
病院名	大洲病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,813 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救 感 へ 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	142	49.6	50.8	53.9
療養	-	-	-	-
結核	8	22.3	4.4	1.7
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	48.2	48.3	51.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	15.4	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	40,575	
決算規模(千円)	30,197,926	
標準財政規模(千円)	15,491,690	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	41.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,134,344			
1 経常収益	3,133,144			
(1) 医業収益	2,452,524			
(うち修正医業収益)	2,404,817			
入院収益	1,294,190			
外来収益	1,054,395			
診療収入計	2,348,585			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	103,939			
(うち他会計負担金)	47,707			
(2) 医業外収益	680,620			
(うち国・都道府県補助金)	144,652			
(うち他会計補助・負担金)	348,091			
(うち長期前受金戻入)	159,588			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,186,537			
2 経常費用	3,179,659			
(1) 医業費用	3,035,685			
職員給与費	1,695,337	69.1	59.4	67.0
材料費	596,643	24.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	255,691	10.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	319,583	13.0	11.8	9.4
減価償却費	265,856	10.8	8.7	10.2
経費	458,578	18.7	22.1	28.8
(うち委託料)	280,042	11.4	11.7	13.2
研究研修費	5,147			
資産減耗費	14,124			
(2) 医業外費用	143,974			
(うち支払利息)	25,048	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	6,878			
損益	-46,515			
純損益	-52,193			
累積欠損金	125,201			
経常収支比率	98.5		103.3	104.5
医業収支比率	80.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	79.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.1		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,289,090
1 固定資産	3,986,157
(1) 有形固定資産	3,985,119
(2) 無形固定資産	1,038
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,302,933
(1) 現金及び預金	423,463
(2) 未収金及び未収収益	840,798
(3) 貸倒引当金()	11,769
(4) 貯蔵品	48,436
3 繰延資産	-
負債合計	3,536,561
1 固定負債	1,479,121
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	569,779
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	909,342
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	876,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	469,305
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	106,493
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	288,818
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,180,598
(1) 長期前受金	3,576,742
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,396,144
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,752,529
1 資本金	1,274,267
2 剰余金	478,262
(1) 資本剰余金	603,463
(2) 利益剰余金	-125,201
負債・資本合計	5,289,090
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	395,798	395,798
資本勘定繰入	287,072	287,072
計	682,870	682,870

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		愛媛県	
市町村・組合名	西予市		
病院名	市立西予市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	11,772 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救感へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	109	59.8	69.5	66.4
療養	43	-	12.0	31.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	46.6	19.3	10.1
計	154	42.9	50.2	54.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	17.9	17.6

設立団体の状況	
人口(人)	35,388
決算規模(千円)	33,878,011
標準財政規模(千円)	16,030,806
財政力指数	0.24
経常収支比率(%)	97.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.3
将来負担比率(%)	73.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,495,363			
1 経常収益	2,441,954			
(1) 医業収益	1,753,151			
(うち修正医業収益)	1,715,471			
入院収益	1,065,175			
外来収益	604,086			
診療収入計	1,669,261			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	83,890			
(うち他会計負担金)	37,680			
(2) 医業外収益	688,803			
(うち国・都道府県補助金)	96,854			
(うち他会計補助・負担金)	331,006			
(うち長期前受金戻入)	198,134			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	53,409			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,656,720			
2 経常費用	2,651,290			
(1) 医業費用	2,469,017			
職員給与費	1,288,507	73.5	59.4	67.0
材料費	359,129	20.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	135,887	7.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	199,328	11.4	11.8	9.4
減価償却費	300,709	17.2	8.7	10.2
経費	513,970	29.3	22.1	28.8
(うち委託料)	211,926	12.1	11.7	13.2
研究研修費	4,007			
資産減耗費	2,695			
(2) 医業外費用	182,273			
(うち支払利息)	34,934	2.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	5,430			
損益				
経常収支比率	92.1		103.3	104.5
医業収支比率	71.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	69.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	78.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,209,211
1 固定資産	6,093,069
(1) 有形固定資産	5,570,295
(2) 無形固定資産	249,679
(3) 投資その他の資産	273,095
2 流動資産	2,116,142
(1) 現金及び預金	1,407,388
(2) 未収金及び未収収益	701,723
(3) 貸倒引当金()	17,203
(4) 貯蔵品	21,733
3 繰延資産	-
負債合計	5,887,016
1 固定負債	4,387,130
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,359,952
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	27,178
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	767,156
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	399,188
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	162,008
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	202,527
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	732,730
(1) 長期前受金	2,727,016
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,994,286
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,322,195
1 資本金	2,637,277
2 剰余金	-315,082
(1) 資本剰余金	477,207
(2) 利益剰余金	-792,289
負債・資本合計	8,209,211
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	331,684	368,686
資本勘定繰入	178,655	207,617
計	510,339	576,303

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	西予市				
病院名	市立野村病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,782 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	70.8	72.1	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	70.8	72.1	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	18.8	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	35,388	
決算規模(千円)	33,878,011	
標準財政規模(千円)	16,030,806	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	73.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,479,383			
1 経常収益	1,446,982			
(1) 医業収益	947,491			
(うち修正医業収益)	927,061			
入院収益	514,296			
外来収益	378,883			
診療収入計	893,179			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,312			
(うち他会計負担金)	20,430			
(2) 医業外収益	499,491			
(うち国・都道府県補助金)	153,977			
(うち他会計補助・負担金)	268,062			
(うち長期前受金戻入)	64,341			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,401			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,523,649			
2 経常費用	1,517,036			
(1) 医業費用	1,470,716			
職員給与費	827,301	87.3	59.4	76.5
材料費	165,381	17.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	108,419	11.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,946	4.6	11.8	6.4
減価償却費	152,698	16.1	8.7	11.5
経費	322,315	34.0	22.1	32.6
(うち委託料)	74,467	7.9	11.7	14.8
研究研修費	2,095			
資産減耗費	926			
(2) 医業外費用	46,320			
(うち支払利息)	3,852	0.4	1.0	1.3
(3) 特別損失	6,613			
経常損益	-70,054			
純損益	-44,266			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.4		103.3	101.5
医業収支比率	64.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	63.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	19.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	76.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,209,211
1 固定資産	6,093,069
(1) 有形固定資産	5,570,295
(2) 無形固定資産	249,679
(3) 投資その他の資産	273,095
2 流動資産	2,116,142
(1) 現金及び預金	1,407,388
(2) 未収金及び未収収益	701,723
(3) 貸倒引当金()	17,203
(4) 貯蔵品	21,733
3 繰延資産	-
負債合計	5,887,016
1 固定負債	4,387,130
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,359,952
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	27,178
(7) 一 戻 債 務	-
2 流動負債	767,156
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	399,188
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	162,008
(6) リ 一 戻 債 務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	202,527
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	732,730
(1) 長期前受金	2,727,016
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,994,286
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,322,195
1 資本金	2,637,277
2 剰余金	-315,082
(1) 資本金剰余金	477,207
(2) 利益剰余金	-792,289
負債・資本合計	8,209,211
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	296,104	288,492
資本勘定繰入	141,122	141,122
計	437,226	429,614

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	久万高原町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,667 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	47	57.6	70.5	78.7
療養	30	61.6	75.9	87.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	59.2	72.6	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	21.6	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,404	
決算規模(千円)	9,802,485	
標準財政規模(千円)	5,820,087	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	975,243			
1 経常収益	975,243			
(1) 医業収益	649,019			
(うち修正医業収益)	609,331			
入院収益	393,527			
外来収益	178,626			
診療収入計	572,153			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	76,866			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	326,224			
(うち国・都道府県補助金)	138,810			
(うち他会計補助・負担金)	139,926			
(うち長期前受金戻入)	33,586			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	976,167			
2 経常費用	976,167			
(1) 医業費用	950,822			
職員給与費	611,649	94.2	59.4	76.5
材料費	67,091	10.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	27,985	4.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,145	4.8	11.8	6.4
減価償却費	59,270	9.1	8.7	11.5
経費	211,890	32.6	22.1	32.6
(うち委託料)	99,833	15.4	11.7	14.8
研究研修費	922			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,345			
(うち支払利息)	591	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-924			
純損失	-924			
累積欠損金	118,418			
経常収支比率	99.9		103.3	101.5
医業収支比率	68.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	64.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	81.5		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,216,832
1 固定資産	526,274
(1) 有形固定資産	525,800
(2) 無形固定資産	474
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	690,558
(1) 現金及び預金	477,480
(2) 未収金及び未収収益	204,610
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,468
3 繰延資産	-
負債合計	319,093
1 固定負債	203,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,969
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	120,716
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	69,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,903
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,227
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,175
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	46,249
(1) 長期前受金	316,798
(2) 長期前受金収益化累計額()	270,549
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	897,739
1 資本金	1,016,157
2 剰余金	-118,418
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-118,418
負債・資本合計	1,216,832
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	179,614	179,614
資本勘定繰入	17,433	19,333
計	197,047	198,947

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		愛媛県	
市町村・組合名	鬼北町		
病院名	北宇和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,963 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	へ
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	68.1	78.2	80.4
療養	45	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	37.4	43.0	44.2
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	27.0	24.0

設立団体の状況		
人口(人)	9,682	
決算規模(千円)	10,678,906	
標準財政規模(千円)	4,944,415	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	891,407			
1 経常収益	883,285			
(1) 医業収益	624,913			
(うち修正医業収益)	624,913			
入院収益	333,341			
外来収益	260,130			
診療収入計	593,471			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	31,442			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	258,372			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	199,997			
(うち長期前受金戻入)	55,669			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,122			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	895,092			
2 経常費用	879,784			
(1) 医業費用	868,376			
職員給与費	92,213	14.8	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	69,594	11.1	8.7	10.2
経費	701,439	112.2	22.1	28.8
(うち委託料)	693,808	111.0	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	5,130			
(2) 医業外費用	11,408			
(うち支払利息)	1,253	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	15,308			
損益	3,501			
純損益	-3,685			
累積欠損金	323,174			
経常収支比率	100.4		103.3	104.5
医業収支比率	72.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	72.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	32.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	22.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	77.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,505,314
1 固定資産	1,318,238
(1) 有形固定資産	1,317,077
(2) 無形固定資産	1,161
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	187,076
(1) 現金及び預金	25,009
(2) 未収金及び未収収益	162,400
(3) 貸倒引当金()	334
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,039,139
1 固定負債	195,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	195,353
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	51,354
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,775
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,636
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,788
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	792,432
(1) 長期前受金	2,234,880
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,442,448
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	466,175
1 資本金	-
2 剰余金	466,175
(1) 資本金剰余金	789,349
(2) 利益剰余金	-323,174
負債・資本合計	1,505,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	191,772	199,997
資本勘定繰入	7,629	8,454
計	199,401	208,451

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	愛南町				
病院名	愛南町国保一本松病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,752 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	60	70.8	82.5	77.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	70.8	82.5	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	19,601	
決算規模(千円)	16,023,287	
標準財政規模(千円)	9,450,877	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	654,594			
1 経常収益	648,962			
(1) 医業収益	369,441			
(うち修正医業収益)	368,687			
入院収益	253,342			
外来収益	94,716			
診療収入計	348,058			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	21,383			
(うち他会計負担金)	754			
(2) 医業外収益	279,521			
(うち国・都道府県補助金)	1,960			
(うち他会計補助・負担金)	245,954			
(うち長期前受金戻入)	13,831			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,632			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	652,836			
2 経常費用	652,789			
(1) 医業費用	632,615			
職員給与費	403,786	109.3	59.4	76.5
材料費	57,130	15.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	30,929	8.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,278	4.7	11.8	6.4
減価償却費	58,218	15.8	8.7	11.5
経費	111,855	30.3	22.1	32.6
(うち委託料)	44,834	12.1	11.7	14.8
研究研修費	1,351			
資産減耗費	275			
(2) 医業外費用	20,174			
(うち支払利息)	82	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	47			
損益	-3,827			
純損益	1,758			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		103.3	101.5
医業収支比率	58.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	58.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	38.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	66.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	37.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	61.6		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	915,520
1 固定資産	567,180
(1) 有形固定資産	564,491
(2) 無形固定資産	2,689
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	348,340
(1) 現金及び預金	277,486
(2) 未収金及び未収収益	64,054
(3) 貸倒引当金()	442
(4) 貯蔵品	7,242
3 繰延資産	-
負債合計	202,540
1 固定負債	11,124
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	11,124
2 流動負債	67,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,433
(6) リース債務	16,034
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,148
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	123,578
(1) 長期前受金	382,624
(2) 長期前受金収益化累計額()	259,046
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	712,980
1 資本金	651,288
2 剰余金	61,692
(1) 資本剰余金	12,364
(2) 利益剰余金	49,328
負債・資本合計	915,520
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	243,042	246,708
資本勘定繰入	-	-
計	243,042	246,708

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。